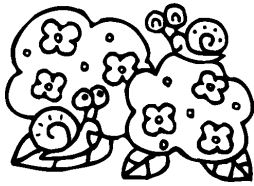


園だより6月

令和8年5月29日
台東区立田原幼稚園
TEL 3842-6477



地域で育つ子供たち

園長 和田万希子

夏が続くと思ったら、梅雨寒のような日もあって、朝着る服に悩んでしまう毎日です。朝晩は寒く、昼間は暑くてジメジメする、しばらくはこのような天気が続くことでしょう。このような気候の時には、体調を崩しやすいものです。元気に乗り切れるよう、しっかりごはんを食べ、早寝早起きを心掛けていきましょう！

親子遠足、楽しかったね

先日の親子遠足は、小雨のため、残念ながら水元公園ではなく、足立区生物園に行きました。ところが、「残念ながら」と思っていたのは私だけで、「足立区生物園に行かれて、かえってよかったね」という声が聞かれるくらい、親子で様々な生き物を観察し、楽しむ姿がたくさん見られました。子供たちに聞くと、「チョウチョがいっぱい飛んでたよ！」「サメもいた！」と、それぞれの“お気に入り”について次々にお話してくれました。

生物園見学の後には、園に戻ってお弁当を食べ、小学校の体育室で触れ合い遊びを楽しみましたが、晴天の時とは一味違う、楽しい親子遠足でした。保護者の方が夢中になって遊んでくださったり、自分のお子さん以外の子供とも触れ合ってくださいたりして、子供たちにとって、とてもいい経験となりました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

お祭りごっこは園の風物詩

田原幼稚園と言えば、浅草の中心。今年から田原幼稚園に来た私も、三社祭をとても楽しみにしていました。当日は、田原小学校の法被を着た小学生や、山車を引く園児たちをたくさん見かけました。きっと、お祭りならではの体験を満喫したことでしょう。

そして週明け、幼稚園では、身の回りにある素材を使って、綿あめやたこ焼きを作ったり、積み木を運びながら「わっしょい！」と声を掛け合ったりと、楽しかったお祭りを再現する姿があちらこちらに…。

三社祭の後に必ず見られる、田原幼稚園の風物詩ですね。お囃子の音や祭り装束の人々、威勢のよい掛け声、田原幼稚園の子供たちは、小さな頃からお祭りを肌で感じて大きくなっていくのだな、と思いました。

土、日地域を回っていると、子供たちのために、と動いてくださっている方がたくさんいらっしゃいました。山車の準備をし、動かしてくださったり、大きなうちわで風を送ってくださったり、お菓子や飲み物を用意してくださったり…大変な暑さの中、子供たちに笑顔で声を掛け、接してくださる姿に、本当に頭が下がりました。

その姿を見ながら、この町の方たちも子供の頃は山車を引いていたのだろうな、いつかは幼稚園の子供たちの中からも「お祭りのために！」と裏方を受け継いでいく人が出るのだろうな、と考えました。

子供たちは、自分たちを応援してくれる人がいること、誰かが準備をしてくれていること、みんなで力を合わせると楽しいことを、それこそ小さな頃から、“肌で”感じ取っているように思います。この地域の温かさや人のつながりに触れながら、人を思いやる心や支え合う気持ちを育んでほしいと願っています。

地域の皆様、いつも本当にありがとうございます！これからも田原っ子をよろしく願いいたします。

